

# 福生市環境基本計画実行計画

30

## (平成 30 年度実行計画進捗状況)

### ◆福生市環境基本計画実行計画

分野別施策	P 1
第 1 節 自然の保全・再生	P 1
1 自然の水循環、多摩川の保全・再生	P 1
2 都市の自然の保全・再生	P 2
第 2 節 潤い豊かな安心できるまちの創造	P 3
1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	P 3
2 安心して歩ける道・緑のまちづくり	P 4
第 3 節 暮らし方の変革・地球システムへの適合	P 5
1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	P 5
2 地球環境問題・公害等への取り組み	P 6

### 計画の推進・環境まちづくりの展開

第 1 節 環境教育・学習の推進	P 9
------------------	-----

## ◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

### 1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

### 2 実行計画の内容等

- (1) 本実行計画は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。
- (2) 平成30年度の実行計画の実施状況、進捗状況を評価し、表中に記載する。

#### 【評価基準】

実施評価		指標評価	
実施できた（100%）	A	順調に進んでいる（100%）	①
おおむね実施できた（80%）	B	ほぼ順調（80%）	②
やや実施できた（50%）	C	多少低調気味（50%）	③
未実施	D	低調	④
		評価せず（年度の数値が取れない場合）	⑤

- (3) 協働事業については★を記載する。
- (4) 当該年度以降継続して実施、検討、研究をするものは、「継続」とする。
- (5) 当該年度決算の[ ]書きは、福生スクラム・マイナス50%協議会決算である。

### 3 推進体制

- (1) 本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。
- (2) 本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価
								部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値	
1	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	①水質汚濁防止	19	下水道への油や界面活性剤、洗車等による汚染物の混入防止のため、市民・事業者への啓発を強化します。雨水枡への汚濁物質流入を防ぎ河川の水質を向上させるため、水の繋がりが意識されるような表示の設置や情報発信について検討します。	水質汚濁防止の啓発	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		継続	広報による周知を年2回実施する。	広報による周知を計画どおり実施した。	A	0									
2	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	②河川維持水量の確保	19	河川維持水量の確保に向け、関係自治体との連携やあらゆる機会を捉えて、継続して関係機関に働きかけます。	河川維持水量の確保要請	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	河川維持水量の確保について、「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省に要望した。	A	0						河川維持水量（羽村取水堰放流水）	4 m <sup>3</sup> /秒	4 m <sup>3</sup> /秒	5
3	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③湧水の保護	20	清岩院など拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護を図る保全に向けて、情報収集を行います。	湧水の保護の情報収集	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に年2回参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。	拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に関し、情報収集を行った。	B	0									
4	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③湧水の保護	20	市内9か所の湧水について定期的なモニタリングを実施し、湧水地点の保護に繋がる情報を蓄積します。また湧水周辺の環境が適切に維持されるよう、管理者・地権者と連携して対策に取り組みます。	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係		★継続	法政大学山崎研究室と協働して、湧水の保全のため、湧水の水質調査を行う。1年間を通して湧水地点5箇所と多摩川の水質調査を行う。実施回数は2ヶ月に1度の6回を予定。	2ヶ月に1度（偶数月）に、湧水地点5箇所と比較試料として多摩川の水質検査を行った。今年度、湧水の枯渇から調査を中止した1地点については目視により状況の確認を行った。実施回数：6回	A	0					湧水地点数	9か所	9か所	9か所	2
5	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④地下水のかん養・冠水防止	20	「総合治水」の観点から、一般宅地での雨水浸透ますの設置助成及び宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を行います。	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		継続	一般宅地での雨水浸透ます・浸透施設の設置助成及び、宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を実施する。	雨水浸透ます2箇所（10個）助成額234,000円 雨水貯留槽3基 助成額129,000円 昨年度の実績を下回るも、防災計画総合治水に位置する案件でもあるので、今後も推進していく。	A	363,000	下水道	管渠費	下水道整備費	雨水管渠整備事業					
6	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④地下水のかん養・冠水防止	20	東京都環境確保条例に基づき、地下水の揚水量指導に努めます。	地下水揚水量報告事務	生活環境部	環境課	環境係		継続	東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。	市内15事業所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	A	0					河川環境や水循環に関心を持ち、生活の中で配慮している市民の割合	—	36.30%	5	
7	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	⑥水循環の学習促進	20	多摩川上流水再生センターの見学等により、下水道や雨水枡と河川の繋がりを、地下水保全等に関する学習機会を提供します。	水循環の学習	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		継続	小学生を対象に平成30年8月上旬に下水道施設見学会（多摩川上流水再生センター及び小平市ふれあい下水道館）を実施する。	下水道の啓発活動として、市内の子どもを対象に下水道施設見学会を実施。日時 8月7日 見学場所 多摩川上流水再生センターふれあい下水道館 参加人数 子ども22名 大人11名	A	0	下水道	下水道総務費	下水道管理費	下水道事務					
8	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	①水害予防対策	21	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、継続して関係機関に働きかけます。	河川防災施設の整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省に要望した。	A	0									
9	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	②防災意識の高揚	21	市民の防災意識の高揚に向けて、防災マップ・ハザードマップの普及や広報等による平時の情報提供に努めます。	防災意識の高揚	総務部	安全安心まちづくり課	防災係		継続	実施場所：安全安心まちづくり課、総合窓口課 実施方法：窓口来庁者及び市内転入者に対し随時配布、市政出前講座の依頼に基づき配布、ホームページへの掲載等 ※30年度においては、福生市地域防災計画の修正内容に合わせたものとするため、福生市防災マップの改定と全戸配布を行う。	平成30年度においては、平成30年12月に修正した福生市地域防災計画の内容に合わせたものとするため、福生市防災マップを改定し、同マップに改めて洪水ハザードマップ（想定最大規模）を掲載した上で、市内全戸配布を行った。 ・福生市防災マップ改定委託料 1,533,600円 ・福生市防災マップ配布委託料 822,904円	A	2,356,504	消防費	消防費	防災対策費	災害対策事業					
10	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	③川の自然観察等の促進	21	福生水辺の楽校の学習プログラムや多摩川サポーターズ等の活動を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深めます。イベント等の参加者がより主体的に学習や保全活動などを継続できるよう働きかけます。	福生水辺の楽校、多摩川サポーターズ	生活環境部	環境課	環境係		★継続	・福生水辺の楽校の学習プログラム等を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深める。 福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」（12回）、「多摩川サポーターズ」（4回）で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。 ・「小中学校における多摩川の総合学習支援」として、多摩川や自然を題材とした総合的な学習の時間において、体験活動や授業の支援を行う。（概ね30回）	多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深める体験学習を実施した。雨天や河川増水のため、プログラムを2回変更し実施した。また、小学校で多摩川を題材とした総合的な学習の時間において支援を行った。福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全12回、参加者607人。福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」全4回、参加者71人。「小・中学校における多摩川の総合学習支援」全29回、参加者1,634人。	A	2,000,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	水生生物調査による水質判定階級	I（きれいな水）	I（きれいな水）	I（きれいな水）	1

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価	
								部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値		
11	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	④河川環境保全活動の推進	21	市民による河川一斉清掃を行い河川植生の再生などを支援。	河川一斉清掃	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	継続	6月の環境フェスティバルに合わせ、多摩川中央公園沿い河川敷において、市民による河川清掃を実施する。 また、この事業は国土交通省の多摩川クリーン作戦の一環として、京浜河川事務所と協働で事業を行う。	・実施場所 多摩川中央公園沿い河川敷 ・実施日 6月3日（環境フェスティバルの一環として実施） ・参加者 119人 ・実施量 可燃ごみ及び不燃ごみ60kg	A	0										
12	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	④河川環境保全活動の推進	21	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。	カワラノギク保全活動	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。年3回	カワラノギクの保全・復元をめざす「カワラノギクプロジェクト」の周知及び保全活動に参加し、河川植生の再生などを支援。保全活動のボランティア募集広報とともに年4回に渡って延べ51名が活動に参加した。	A	0										
13	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	⑤多摩川に関する学習拠点の運営	21	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理運営を行います。	川の志民館管理	生活環境部	環境課	環境係		継続	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理運営を行う。	川の志民館の常時集中監視及び、異常を感知した際の対応。実施状況を月単位で報告。利用者1,086人。	A	163,944	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	川の自然観察等への参加者数	584人(H26)	680人	678人	①	
14	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	①樹林地等の開発抑制・保全	23	東京都景観保全条例による規制、福生市宅地開発等指導要綱による指導と合わせ、保存樹林地制度の継続、緑地保全地区の指定などにより、樹林地等の保全と開発抑制を図ります。	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	緑確保の総合的な方針（東京都）に基づき樹林地等の保全に努める。 樹林地で開発が行われる場合には、福生市宅地開発等指導要綱に基づき、緑化や植樹の指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき3件の協議を行い、うち該当する2件について緑化や植樹の指導を行った。	A	0					市域に占める空から見た緑と水の割合	28.6%(H25)	現状維持		⑤	
15	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	①樹林地等の開発抑制・保全	23	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方策を検討します。	保存樹林地指定制度	生活環境部	環境課	環境係		継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定及び奨励金の交付を行い、緑を保全する。	保存樹林地等の指定及び奨励金の交付。宅地介在山林（4件・6筆・2,300㎡）、一般山林（2件・3筆・669㎡）、保存樹木（37件・169本）、保存生垣（135件・142箇所・延長2,767m）	A	3,053,355	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	保存樹林地面積	6,149㎡(H26)	現状維持	2,969㎡	③	
16	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	①樹林地等の開発抑制・保全	23	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方策を検討します。	生垣保存協定補助制度	生活環境部	環境課	環境係		継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づく生垣の設置にかかる費用補助制度について広報、ホームページで周知する。	生垣の設置にかかる申請なし	A	0					保存生垣延長	3,143m(H26)	現状維持	2,767㎡	③	
17	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	都市の自然生態系の再生	①街区公園等の維持管理	24	緑の基本計画に基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティア等の情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、活動に対する支援情報の提供など、公園ボランティア制度の充実を図ります。	街区公園等の維持管理	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	継続	市街地の身近な公園を適正に維持管理するために、公園ボランティアと協働で清掃、除草等を行い、公園内の美化に努める。 また、公園ボランティアに対する支援（用具の支給、ボランティア保険の加入）を実施し、公園ボランティア制度の充実を図る。	・活動内容 ごみの収集、除草、樹木・花壇の維持管理、情報提供等 ・実施場所 市内公園・児童遊園 ・登録人数 390人、12団体（平成31年3月末現在）	B	81,084	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	市と市民の協働によって緑と水の質が高められている場所	43か所(H25)	49か所(H35)	37か所	②	
18	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	都市の自然生態系の再生	②自然再生事業の展開	24	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	自然再生事業の展開	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	継続	都市計画公園や都市緑地などの樹林地の自然再生の取り組みを推進する。 また、文化の森（福生公園）、みずくらい公園、加美上水公園についてはボランティア団体により、下草刈りや落葉清掃、外来種の除去等、樹林地の再生に取り組んでいるが、高木の剪定等、専門性が求められる場合は、業者委託により作業する等、役割分担を明確にし、効果的な取り組みを進めていく。	・福生萌芽会：文化の森（福生公園）にて実施 年10回（平均10名） ・福生加美上水公園自然塾：加美上水公園にて実施 年22回（平均8人） ・水喰土ボランティア：みずくらい公園にて実施 月16回（平均5人） ※ただし、月1回の活動の他に、花いっぱい運動や落葉掃きなど随時の活動もあり。	A	81,084	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	市域に占める利用できる水と緑の割合	10.3%(約106ha)(H25)	10.9%(約112ha)(H35)	10.3%(約106ha)	①	
19	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	都市の自然生態系の再生	③生態系の調査・研究の推進	24	東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画に基づき、アライグマとハクビシンの捕獲防除を行い、生態系の保全、農業被害の予防を図ります。また、市民と協働した防除活動のあり方について検討を行います。	外来生物防除委託	生活環境部	環境課	環境係	★	レベルアップ	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載を行うとともに、委託によりアライグマ、ハクビシンの捕獲防除を行う。 さらなる捕獲防除を推進するため、定点での捕獲の他に、平成30年度から検証地での捕獲と個別対応の捕獲を実施する。	アライグマ23匹、ハクビシン19匹を捕獲。 震は、定点として3箇所に6基、検証地として2箇所に3基、市民対応として9箇所に19基、それぞれ設置。	A	2,222,640	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						
20	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	都市の自然生態系の再生	③生態系の調査・研究の推進	24	地域猫の会の取り組みを拡大し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を推進するとともに、飼い主のモラル向上を働きかけます。	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、去勢・不妊手術等を行い、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。 福生地域猫の会定例会等で情報共有を図り、地域猫の取り組みが拡大するよう地域猫制度等のPRに努めるとともに、飼い主のモラルの向上を働きかける。	団体に去勢・不妊手術費の助成を行った。オス78頭、メス40頭 計118頭	A	1,026,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業区分	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標と目標値				指標評価	
								部	課	係						款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値		
21	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	25	まちづくり景観推進連絡会などの推進体制により、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用を進めます。	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	継続	まちづくり景観推進連絡会に参加することにより、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について研究する。熊川分水の景観重要資源指定箇所9箇所に、表示板を設置し、景観重要資源への理解を促すとともに、地域の貴重な財産であることを周知する。また、景観重要資源の所有者に対し、景観重要資源の維持管理費用の一部を助成し、所有者の負担を軽減することで、地域の貴重な財産である景観重要資源の保全を促進する。さらに、熊川分水の土地所有者と無償使用の協定を締結した箇所については、市が維持管理を行う「熊川分水保全事業」を実施する。 ※予算については、No.31と重複	まちづくり景観推進連絡会を月1回開催し、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について検討した。また、まちづくり景観推進連絡会主催でまちづくり景観フォーラムを3月に開催し、参加団体の活動報告、「公園」をテーマとした意見交換等を行った。景観重要資源指定箇所に説明板2箇所、標柱7箇所を設置した。また、景観重要資源所有者が資源を維持管理する際の助成制度を開始することなどにより保全に努めるとともに、市と土地所有者が無償使用の協定を締結している箇所について維持管理を行った。	A	1,242,959	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	地区計画策定数	2件(H25)	3件(H31)	3件	①
22	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	25	樹木診断や害虫駆除等の適切な管理を実施することにより、多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図ります。	多摩川堤防沿桜管理	都市建設部	施設公園課	施設公園グループ	★	継続	多摩川堤防沿いの桜の剪定や害虫駆除を実施し、長寿命化を進め、文化的景観資源の保全を図る。(平成30年度予定)多摩川堤防沿桜80本剪定	多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図るための措置を行った。 ・実施量 軽剪定80本、不要枝剪定188本 ・実施時期 平成30年6月～平成31年3月	A	2,160,000	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務					
23	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	25	市民ボランティアガイドによる市内文化財ツアー等の実施により、市民等を対象とした学習機会を提供します。	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育部	生涯学習推進課	文化財係	★	継続	市内文化財ガイドツアーの実施(年3回程度)	市内文化財ガイドツアーを実施した(年4回)	A	0	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業					
24	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②屋外広告物の規制	25	違反広告物撤去協力員制度を継続し、道路沿線の捨て看板、街中の貼り紙など景観を阻害する違反広告物の撤去を進めます。	違反広告物撤去協力員制度	都市建設部	道路下水道課	管理グループ	★	継続	市内道路において、違反広告物除却を行う。	違反広告物撤去協力員153名貼り紙の撤去319件を実施した。	A	0									
25	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	町会・自治会による統一美化キャンペーンを継続するとともに、廃棄物減量等推進員の機能強化や道路美化ボランティア等との連携について検討し、ごみが捨てられにくい環境を維持します。	清潔で美しいまちの維持	生活環境部	環境課	ごみ対策係	★	継続	清潔で美しいまちづくり重点地区を見回り調査し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。町会・自治会の一斉清掃を継続する。	清潔で美しいまちづくり事業委託にて市内清掃と条例周知を行った。週3回、4人で巡回。町会・自治会一斉清掃実施。参加人数1,711人。	A	5,503,853	衛生費	清掃費	清掃費	清潔で美しいまちづくり事業	福生らしい景観の保全に満足している市民の割合	43.0%(H26)	50%(H32)		⑤
26	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図ります。	清潔で美しいまちの維持	都市建設部	道路下水道課	管理グループ	★	継続	市内道路において、道路美化ボランティア団体に随時から年数回、道路清掃等を行ってもらう。道路美化ボランティア団体からの年度末の活動報告に基づき、道路清掃に必要な消耗品等の支給を行う。	道路美化ボランティア16団体352名	A	0									
27	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	住民の福祉及び連帯意識を高め地域活性化につなげるため、町会・自治会が行う各種事業を支援します。	地域活性化交付金事業	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	★	継続	地域社会のコミュニティ組織である町会・自治会が主体的に行う各種事業に対し、交付金を交付する。	32団体 8,992,376円	A	8,992,376円	総務費	総務管理費	協働推進費	町会等活動支援事務					
28	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	①玉川上水沿いの遊歩道化	27	国指定史跡文化財「玉川上水」を市全体の歴史的環境・自然環境保全のシンボルとして捉え、景観推進連絡会及び玉川上水・熊川分水に関わる市民団体と連携して散策コースの検討を進めます。	玉川上水沿いの遊歩道化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	継続	玉川上水沿いをできるだけ活かした散策コースについて、市民団体と検討のあり方を研究する。	引き続き市民団体と検討している。	B	0									
29	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	②散策路のネットワーク化	27	緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。	散策路のネットワーク化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	継続	玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶ散策ルートについて、市民団体との検討のあり方を研究する。	引き続き市民団体と検討している。	B	0									
30	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	②散策路のネットワーク化	27	緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。	散策路のネットワーク化	生活環境部	シティセールス推進課	まちの魅力創造グループ	★	継続	多摩・島しょ地域への観光客の誘客促進を目的として、市内駅前8箇所を毎年順番に観光案内板を書き換えている。市内の和洋の文化を活かした散策ルートを掲載しているふっさまつぷの配布やHPでのPRを通じて散策ルートの周知を行っている。	東京観光財団の補助金を活用し拜島駅北口の観光案内看板の書替を実施した。インバウンド向けに四ヶ国語で標記した多言語対応としており、観光客誘導のため、主要な観光資源を回る散策コースを記載した。	A	410,400	商工費	商工費	商工費	まちの魅力推進事業					

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価
								部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値	
31	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	27	熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	熊川分水の景観重要資源指定箇所9箇所に、表示板を設置し、景観重要資源への理解を促すとともに、地域の貴重な財産であることを周知する。 また、景観重要資源の所有者に対し、景観重要資源の維持管理費用の一部を助成し、所有者の負担を軽減することで、地域の貴重な財産である景観重要資源の保全を促進する。 熊川分水の土地所有者と無償使用の協定を締結した箇所については、市が維持管理を行う「熊川分水保全事業」を実施する。 ※予算については、No.21と重複（再掲）	景観重要資源指定箇所に説明板2箇所、標柱7箇所を設置した。また、景観重要資源所有者が資源を維持管理する際の助成制度を開始することなどにより保全に努めるとともに、市と土地所有者が無償使用の協定を締結している箇所について維持管理を行った。	A	1,127,520	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	熊川分水の保全予定区間における協定締結数	2か所	6か所	4か所	②	
32	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	27	熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	道路下水道課	道路グループ	継続	熊川分水保全事業の実施状況に基づき、必要に応じて補修を行う。	維持補修を実施した。（1箇所）	A	159,840	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持事務						
33	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道路・都市施設の整備	①バリアフリーの推進	28	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公共施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりを目指します。	バリアフリーの推進	福祉保健部	社会福祉課	福祉総務係	継続	管理指標を念頭に、扶桑会館の整備工事に関わるバリアフリー化を推進する。	情報提供を通じて意識啓発を行い、当該整備工事に関わるバリアフリー化を図った。	A	0					公共施設のバリアフリー化率	5/16施設 (H25)	8/16施設 (H31)	7/16施設	①	
34	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道路・都市施設の整備	②中心商業地区の安全化・快適化	28	商工会と連携した経営支援及び創業支援、商店街等で実施されるイベントの支援、商店街を含む回遊型観光の情報発信などを通じて、商店街の振興を図ります。	中心商業地区の安全化・快適化	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	★継続	新元気をさせ商店街事業費補助金を活用し、商店街が実施するイベント事業や商店街案内マップ作成などの支援を行う。（11,880千円） また、装飾灯を所有する7商店街について、装飾灯にかかる電気料金の2分の1を補助し、商店街内の賑わいの創出や防犯上の安心等の向上を図る。（806千円）	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金を活用し、商店街が実施するイベント事業（14事業）や商店街案内マップ作成（2事業）などの支援を行なった。 また、装飾灯を所有する7商店街について、装飾灯にかかる電気料金の2分の1を補助し、商店街内の賑わいの創出や防犯上の安全安心等の向上を図った。	A	973,544	商工費	商工費	商工費	商工業振興事業	コミュニティビジネスの新規創業数（累計）	2件 (H26)	8件 (H32)	6件	②	
35	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道路・都市施設の整備	③生活道路の安全化	28	地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、生活道路の安全化を推進します。	生活道路の安全化	都市建設部	道路下水道課	管理グループ・道路グループ	継続	狭あい道路の解消や安全で快適な道路空間の確保に努める。 また、必要な箇所については交通管理者との協議を行い、交通規制等対応をずる。	通学路点検などから市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め交通管理者と協議のうえ、安全対策を検討した。	A	0					バリアフリー対応歩道の市道延長	6,788m (H25)	8,859m (H31)	10024.53m	①	
36	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	安心して歩ける道路・都市施設の整備	④耐震化の促進	29	耐震改修促進計画に基づき、市内の建物の耐震化を進めます。	市内の建物の耐震化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の費用の一部を助成する制度について、広報、ホームページで周知していく。	昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の助成制度について広報及びホームページで周知した。 耐震診断費用の一部を助成した。（1件）	A	97,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事業						
37	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	①住宅や事業所などの緑化	30	緑あふれる市街地形成のため、宅地開発等指導要綱に基づく事業者への指導を行うとともに、地区計画等による地域の緑化を促進します。	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為には、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき3件の協議を行い、うち該当する2件について緑化指導を行った。	A	0					緑視率	約3% (H25)	約8% (H35)		⑤	
38	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	30	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。 緑の基本計画に基づき保全に努める。	緑の基本計画に基づき保全に努めた。（新扶桑会館）	A	0										
39	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	30	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	都市建設部	施設公園課	建築グループ	継続	市営駐車場整備事業 新扶桑会館整備事業 「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、緑化を実施する。	・市営駐車場整備事業 ・駐車場整備に伴い、緑化を計画した。（平成31年度工事） ・新扶桑会館整備事業 会館新築に伴い、緑化を実施した。	A	16,710,000 257,691,680	土木費 教育費	都市計画費 社会教育費	駐車場管理費 生涯学習推進費	市営駐車場管理費 新扶桑会館整備事業						
40	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	30	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	教育部	教育総務課	学校施設係	新規	福生第三小学校増築事業 「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、緑化を実施する。	福生第三小学校増築事業の設計において、緑化を検討したが、敷地が手狭であることから、東京都と協議し、工事内容に緑化を含めないこととなった。	B	24,796,800	教育費	小学校費	学校施設費	第三小学校増築事業						

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施内容	実施評価	決算額(円)	会計区分				管理指標と目標値				指標評価
								部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値	
41	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地のあるまちづくり	30	農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。	市民農園整備	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	更新対象となる福生奈賀、福生武蔵野、熊川武蔵野第二、熊川牛浜、熊川北市民農園について整備工事を行う。また、熊川東、福生加美、南田園第二についてはロープ柵等が腐食しているため整備工事を行う。	定期更新対象である市民農園の整備工事(福生奈賀60区画、福生武蔵野100区画、熊川武蔵野第二23区画、熊川牛浜11区画、熊川北15区画)を実施した。なお、総区画数は福生奈賀83区画、福生武蔵野130区画、熊川武蔵野130区画、熊川武蔵野第二35区画、熊川牛浜18区画、熊川北23区画であり、整備工事区画差引分は市民農園協会費より支出した。また2年更新から3年更新へと更新期間の変更を行った。熊川東・福生加美・南田園第二市民農園のロープ柵についても整備工事を行った。	A	1,570,752	農林水産業費	農業費	農業費	市民農園管理事務	地域における農地の減少率	年平均3%(H12-22)	年平均2%(H23-32)	1.99%	②	
42	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	30	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	ふっさ花いっぱい運動委託	生活環境部	環境課	環境係	★継続	ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動(春・秋の2回)に合わせた花植えやコンテストを行う。(一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う)	花とみどりのあるまちづくりのため、花いっぱい運動を行い、コンテストを実施した。(春と秋に2回)	A	732,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業						
43	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	30	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	花壇管理委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	多摩川中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開する。	花や緑あふれるまちづくりを展開するため、花壇管理を行った。福生野球場込み地管理工46㎡×6回、長徳寺段下花壇管理工70㎡×3回、100㎡×1回、多摩川中央公園花壇管理工405㎡×4回	A	518,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業						
44	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	31	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	春と秋に実施する花いっぱい運動で使用する草花苗について、市内農業者で組織するグリーンクラブ福生に委託し、生産及び配布により農業振興を図る。	花いっぱい運動で使用する草花苗を、市内農業者で組織するグリーンクラブ福生へ委託し、農業振興を図った。(春)サルビア8,600株、ペチュニア8,700株、マリーゴールド17,500株(秋)パンジー・ビオラ31,579株、葉ポタン6,627株	A	7,387,876	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業						
45	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	①ごみを減らす生活の呼びかけ	31	ごみ問題や取り組み成果の情報を分かりやすく発信するとともに、ごみの発生抑制につながる消費行動や事業活動を呼びかけるため、市民の目に届く手法を工夫します。	ごみを減らす生活の呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの発生抑制のため、無駄なものは断る・買わないから始め、大切に使うこと、不要となった場合の有効利用を考慮した消費行動・事業活動を、広報ふっさ、清掃だより等により呼びかける。	広報ふっさ(毎月15日号)にて、ごみ、資源収集情報を掲載。さらに、清掃だよりにてごみ減量を呼び掛けた。	A	790,608	衛生費	清掃費	清掃費	清掃事務	ごみ排出量(資源ごみを除く)(1人1日当たりごみ排出量)	16,277t(760.9g)	15,000t(H31)(728.7g)	15,523t(728.8g)	②	
46	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	②事業系一般廃棄物の減量	31	事業系一般廃棄物処理計画の指導や収集段階での直接指導により、事業者の排出責任に対する理解を深めます。拡大生産者責任に基づく事業者責任の強化・明確化など自治体に配慮した制度の着実な実施を関係機関に要請します。	事業系一般廃棄物の減量	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	事業系一般廃棄物処理計画書の指導など事業活動に伴う一般廃棄物の効果的な排出抑制につながるレジ袋削減、簡易な包装などごみになるものの削減の工夫や減量を、事業所に対して呼びかける。また、拡大生産者責任に基づく事業者責任の強化・明確化を関係機関へ要請。	各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書を提出していただくことにより、ごみ減量と資源化を呼び掛けた。また、拡大生産者責任の明確化と「EPR(生産者責任)法」の整備について国に要請されたい旨東京都市長会に継続要望した。	A	0										
47	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	③ごみに関する学習機会の提供	31	ごみ問題の理解やごみを出さない暮らし方に関する継続的な学習を推進するため、副読本を作成し小学校での活用を推進します。	ごみに関する学習機会の提供	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	小学生を対象とした環境教育の推進。小学校4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成する。	社会科の授業の副読本として市内全小学校へ490部配布した。	A	71,280	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対策事業						
48	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	①分別による資源化	32	ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化します。新たな資源化品目の追加について検討します。	分別による資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの適切な資源化・処理が行われるようにごみ分別の徹底及び資源化の検討。廃棄物減量監視事業の実施。	平成26年4月から全てのごみ・資源を自宅及び集積所から排出することにより、ごみの分別の徹底を図った。廃棄物減量監視事業を年4回実施。	A	67,408	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬事業	総資源化率	37.00%	42.0%(H31)	35.00%	③	
49	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	②バイオマス資源化	32	剪定枝についてはリサイクルセンターにおける回収、資源化の周知に努め、リサイクルシステムの確立を目指します。生ごみについては福生市に適した活用方法について引き続き検討します。	バイオマス資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	生ごみの堆肥化や剪定枝の資源化に向けた収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみの堆肥化の啓発、生ごみ処理機器購入費補助。	市民から分別収集した剪定枝を資源化した。(16t)生ごみ堆肥化容器を貸与した。(46基)生ごみ処理機器購入費補助を実施した。(11件)	A	608,077 615,302	衛生費	清掃費	清掃費	中間処理事業 ごみ減量対策事業						
50	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	③地域リサイクルシステムの強化	32	市民・事業者等による地域での再使用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努めます。	地域リサイクルシステムの強化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	資源回収実施団体報償金制度を継続し、地域リサイクルシステムを強化する。	資源回収実施団体に対し報償金を交付した。資源回収実施団体79団体、実施回数963回	A	13,937,784	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対策事業						
51	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	③地域リサイクルシステムの強化	32	市民・事業者等による地域での再使用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努めます。	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	★継続	市内で実施しているフレンドシップフリーマーケット及び熊川フリーマーケットについて、広報、HPで周知する。	広報周知を5回行った。また、実施日時確定時にホームページの更新を行った。	A	0										

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性				事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価
											部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値	
52	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	④適正な中間処理、最終処分システムの推進	32	エコセメント化など、最終処分場の延命化を進めるとともに、有害ごみ等の処分の適正性を確保する監査に努めます。また、焼却処分を行っていたし尿処理について、今後堆肥化を検討していきます。	適正な中間処理・最終処分の推進	生活環境部	環境課	ごみ対策係			継続	理め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底及び不燃廃棄物の資源化の実施。また、し尿処理の堆肥化の検討。	理め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底及び不燃廃棄物等の資源化を実施した(29t)。また、し尿処理の堆肥化の検討を行った。	A	1,558,836	衛生費	清掃費	清掃費	中間処理事業							
53	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	①地球温暖化対策の枠組みの明確化	33	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。	地球温暖化対策の枠組みの明確化	生活環境部	環境課	環境係			継続	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行う。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」に基づき、進捗管理を行う。	オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し、市域の温室効果ガスの進捗管理を、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市有施設の温室効果ガス排出量の進捗管理を実施した。	A	0					市民一人当たりのCO2排出量（横田基地分を除く民生家庭部門）	1,189kg-CO2 (H24)	784kg-CO2	1,007kg-CO2 (H28)	②		
54	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	①地球温暖化対策の枠組みの明確化	33	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京63市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。	福生市環境マネジメントシステム（F-e）	生活環境部	環境課	環境係			★継続	市有施設の温室効果ガス排出量は、福生市環境マネジメントシステム（F-e）により地球温暖化対策を進める。福生市環境マネジメントシステム（F-e）の効果的な運用のために、市民監査委員とともにシステムの見直しを随時図っていく。	市民監査委員を含む監査チームによる本監査（平成31年1月30日から2月1日）の他、環境推進委員会（3回）、目標設定チーム会議（1回）、環境マネージャー会議（2回）、監査チーム会議（3回）の各種会議を実施し、地球温暖化対策の推進を図った。F-e研修として新人研修会（1回）、全職員対象の職員研修会（2日間、全8回）、監査直前説明会を実施。市民監査委員：10名	A	747,300	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	市有施設の温室効果ガス排出量（市地球温暖化対策実行計画）	3,967.567kg-CO2 (H26)	4,190.723kg-CO2	4,380.311kg-CO2	③		
55	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	みどりのカーテン大作戦	生活環境部	環境課	環境係			★継続	みどりのカーテンを推奨、促進するため、ゴーヤの苗等の配布、講習会を実施し、みどりのカーテンの普及に努める。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業）	ふっさ環境フェスティバルでゴーヤの苗配布（800ポット）及びみどりのカーテン講習会の実施。みどりのカーテンコンテスト表彰式を11月5日実施した。14組応募。	A	[150,000]											
56	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	福生まちなか涼み処、福生まちなか温み処	生活環境部	環境課	環境係			継続	家庭での節電を奨励するとともに、公共施設において市民が涼み（温まり）、交流できるスペースを確保し、市民の利用を促す。各施設は、市民が気軽に、気兼ねなく過ごせる工夫をする。公共施設10箇所実施予定。	家庭での節電対策として、夏季は「福生まちなか涼み処」、冬季は「福生まちなか温み処」を公共施設10箇所実施した。	A	0											
57	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	家庭の省エネルギー情報発信	生活環境部	環境課	環境係			★継続	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて、セミナー及び家庭の省エネ展示を開催。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業）	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて12月8日に地球温暖化防止セミナー「持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みと私たちの暮らし」を実施した。また、12月11日から19日までの間、市役所ロビーにて市民団体と協働し、冬の省エネや地球温暖化の影響・取り組み等の普及啓発活動に関連した展示やリーフレットの配布を行った。	A	[540]											

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価	
							部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値		
58	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	都市建設部	施設公園課	建築グループ		継続	福祉センター設備改良事業 LED化及びコジェネ(35kw)4台を導入する。  新扶桑会館整備事業 LED導入	・福祉センター設備改良事業 LED化及びコジェネを導入する。 (令和元年12月竣工)  ・新扶桑会館整備事業 会館新築に伴い、LED照明器具を導入した。	A	167,363,272 257,691,680	民生費 教育費	社会福祉費 社会教育費	高齢者福祉費 生涯学習推進費	福祉センター管理費 新扶桑会館整備事業						
59	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	教育部	教育総務課	学校施設係		継続	平成27年度から継続して実施されてきた体育館非構造部材落下防止対策において、体育館照明のLED化を実施する。平成30年度は、福生第三小学校において防音機能復旧（復機）工事を併せて実施を予定しており、これにより、小・中学校全10校の体育館照明LED化が完了する。予算は、小学校防音機能復旧（復機）事業に計上。	福生第三小学校において防音機能復旧（復機）工事を併せて実施した体育館非構造部材落下防止対策において、体育館照明のLED化を実施した。これにより、小・中学校全10校の体育館照明LED化が完了した。小学校防音機能復旧（復機）事業内で実施した。（予算は、No.60に含まれる。）	A	-										
60	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	教育部	教育総務課	学校施設係		継続	小学校空調機の更新事業を計画し、省エネ化等を図る予定。平成30年度は、福生第三小学校講堂、福生第五小学校校舎の工事を実施する予定。	福生第三小学校講堂、福生第五小学校校舎の空調機更新工事において、15年以上経過し老朽化した機器を最新機器に更新した。	A	327,079,080	教育費	小学校費	学校施設費	小学校防音機能復旧（復機）事業						
61	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	教育部	教育総務課	学校施設係		新規	中学校空調機の更新事業を計画し、省エネ化等を図る予定。平成30年度は、福生第三中学校工場の設計を実施する予定。	福生第三中学校の空調機更新工事の設計の中で、15年以上経過し老朽化した機器を最新機器に更新することとした。	A	9,655,200	教育費	中学校費	学校施設費	中学校防音機能復旧（復機）事業						
62	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	教育部	生涯学習推進課	生涯学習推進係		継続	福生消防署の建替工事に伴い、現在の扶桑会館用地を東京都に無償貸与するため、扶桑会館の代替施設の新築工事をを行う。平成30年度は本格的な建設工事を実施する。LED照明の設置及び節水型器具の採用。	LED照明の設置、個別空調化及び自動水酸化を行った。  事業費 257,691,680円 【内訳】 建築 183,215,720円 電気設備 30,975,600円 給排水衛生設備 13,359,840円 空調設備 29,545,440円 その他工事 595,080円	A	257,691,680	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	新扶桑会館整備事業						
63	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	34	③省エネカーの普及	省エネカーの普及	総務部	契約管財課	管財係		継続	車両購入後15年以上が経過した公用車2台を買い替え予定。新規に購入する車両は、買い替え前の車両より燃費効率が向上しており、車両の省エネ化を進める。	公用車2台を買い替え。1台は省エネルギー法に基づく、平成27年度燃費基準達成車を購入。外の1台は通常時は電気で行き、燃費効率も良いPHV車を購入し、車両の省エネ化を進めた。	A	4,610,000	総務費	総務管理費	一般管理費	車両管理事務						

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価
								部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値	
64	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	③省エネカーの普及	34	電気自動車の普及促進のため、電気自動車用急速充電器利用サービスを周知し、利用者の拡大を図ります。	電気自動車用急速充電器保守委託	生活環境部	環境課	環境係		継続	電気自動車の普及・促進のため、電気自動車用急速充電器を24時間利用可能なサービスを提供する。	電気自動車用急速充電器（有料化）を24時間一般開放し、地球温暖化対策として電気自動車の普及を目的として運用を図った。利用回数：23回 利用料金：11,500円	A	270,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務					
65	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自動車依存から自転車使用の促進を目指し、自転車のまちづくりに取り組みます。	自転車のまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	都市計画マスタープランに基づいて検討する。	都市計画マスタープランに基づき、引き続き検討した。	B	0									
66	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自動車依存から自転車使用の促進を目指し、自転車のまちづくりに取り組みます。	自転車のまちづくり	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		継続	福生警察署と協力して、自転車ナビマーク等の設置を推進し、自転車走行空間の確保に取り組む。	自転車専用通行帯を965.4㎡、自転車ナビラインを25個、自転車ナビマークを13個設置した。	A	9,700,560	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	交通安全施設管理事務					
67	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自動車依存から自転車使用の促進を目指し、自転車のまちづくりに取り組みます。	サイクルシェアリング事業	生活環境部	環境課	環境係		継続	くるみる ふっさを軸とした「まちなかもてなし事業」としてサイクルシェアリングの運営を継続する。※予算は環境課所管分のサイクルシェアリング委託料（まちなかもてなし事業は委託により実施し、シティセールス推進課と環境課の共同事業）	サイクルシェアリング（たっけー☆☆サイクルポート）を実施した。貸出返却拠点：5箇所、会員：814名、シェアリング利用：192,500円、一時利用：114,800円、収入総額307,300円	A	5,948,036	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務					
68	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。	駅前放置自転車クリーンキャンペーン	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係		継続	駅前放置自転車防止を包含した、自転車マナーアップキャンペーンを実施する。（福生駅、牛浜駅、拝島駅にて実施予定）あわせて東京都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施する。（10月頃、福生駅にて実施予定）	自転車マナーアップキャンペーン 4月9日（月）福生駅 11日（水）牛浜駅 12日（木）拝島駅 春の交通安全運動期間と合わせて実施した。駅前放置自転車クリーンキャンペーン 10月23日 福生駅（東京都のキャンペーン期間10月22日～31日）	A	0									
69	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。	放置自転車等対策関係委託	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係		継続	通年において、指導、撤去、保管業務をシルバー人材センターに委託する。	主に駅前での自転車所有者への放置防止指導業務、また実際に放置された自転車の撤去、保管場所での管理業務の3業務をシルバー人材センターに委託した。福生駅周辺の指導業務の人員配置を状況、時間帯に応じて変更するなどの工夫を行い、効率的な運営に努めた 撤去台数562台、返還台数339台。	A	15,087,952	総務費	総務管理費	地域安全対策費	放置自転車対策事務					
70	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。	自転車のまちづくり	都市建設部	道路下水道課	管理グループ		継続	道路上の通行に支障となり、放置された自転車について、道路法に基づき、随時撤去を行う。	駅周辺300mを除く地域の放置自転車28台を回収した。	A	0									
71	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自転車の安全な利用と自転車のまちづくりに関して利用者の視点から考えるきっかけづくりのため、主に児童生徒を対象に学習機会を提供します。	自転車の安全教室	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係		継続	中学校において、スタントマンが事故現場を再現する交通安全教室を実施する。なお、平成30年度においては、福生第三中学校において実施予定。	中学生交通安全教室 5月12日（土）福生第三中学校 生徒だけではなく保護者、一般市民も見学しやすいように学校側の了解のもと学校公開日に実施した。	A	257,040	総務費	総務管理費	地域安全対策費	交通安全対策事務					
72	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑤公共交通の利用促進	34	鉄道・バスの利便性向上に向けた働きかけを継続し、公共交通の利用促進を目指します。	公共交通の利用促進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じて要請する。 ※予算額は関係する協議会等負担金	JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じて要請した。 ※決算額は関係する協議会等負担金	A	93,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務					
73	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑥気候変動への適応	34	国の気候変動適応計画の策定動向を踏まえ、気候変動適応策の検討に向けた情報収集を行います。	気候変動への適応	生活環境部	環境課	環境係		継続	国や都の気候変動に関する情報の収集に努める。	国や都をはじめ、気候変動に関する情報収集に努めた。	A	0									
74	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	各種苦情処理	生活環境部	環境課	環境係		継続	騒音、振動、悪臭などの原因元への指導、生活公害の防止を行い、各種苦情処理について丁寧かつ適切に対応していく。	市民からの苦情について、現場対応を含め迅速に丁寧に対応した。（206件）	A	0					環境基準達成率	別掲	別掲	別掲	②

No	環境基本計画体系	頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価				
					部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値					
75	暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	各種分析委託（公害）	生活環境部	環境課	環境係	継続		多摩川及び下水道（雨水管）で定期的な測定調査・分析を実施する（年8回8箇所）、浮遊粉じん等採取用の機材の設置を行い、3日間計測の後に分析を行う、燃料油（イオウ分）2検体について油中の硫黄の含有量を分析する、大気汚染調査（二酸化窒素）12検体の分析をする、工場排水1ヶ所において排水基準等項目の分析を行う、地下水汚染調査で市内10ヶ所について環境項目等項目の分析を行う、横田基地より流入している雨水管3ヶ所について環境項目・健康項目等項目の分析を行う。	福生市環境基本条例第8条第1号に基づき、市内における公害の防止のため、各種調査を行った。 ・大気汚染調査 浮遊粒子状物質及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量（市内4箇所）、燃料に含まれるイオウ分（2事業所）、二酸化窒素（市内12地点） ・水質調査 河川及び下水道（雨水管）（8箇所年8回）、地下水（市内10箇所）、工場排水（1箇所）、雨水管（横田基地流入分3箇所）	A	1,726,596	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
76	暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	航空機騒音測定器保守委託	生活環境部	環境課	環境係	継続		横田基地における航空機騒音を測定するために、年2回、正常に測定できているか点検を委託する（市役所屋上・誘導灯付近）。	市役所屋上・熊川誘導灯付近の航空機騒音測定器の点検を2回実施し、正常に作動していることを確認した。	A	329,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
77	暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	自動車騒音調査等委託	生活環境部	環境課	環境係	継続		（常時監視）：市内でセンサス区間に指定されている幹線道路20箇所（1箇所は毎年）の自動車騒音調査を5箇年以内にすべて行う。環境省に提出する自動車交通騒音対策の資料とする。 （要請限度）：「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理する。自動車騒音調査（常時監視）：5箇所 自動車騒音調査（要請限度）：5箇所	騒音規制法第17条に基づき、市内でセンサス区間に指定されている幹線道路の自動車騒音調査を5箇所行った。 「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理し、騒音調査について3日間、振動調査・交通量調査について1日間の自動車騒音調査を5箇所で行った。	A	1,803,600	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
78	暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	横田基地航空機騒音対策の推進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続		市議会、横田基地周辺市町及び東京都と連携を取りながら、国及び米軍に対し航空機騒音対策を要請する。 ※予算額は関係する協議会等負担金	国及び米軍への要請（51回）	A	204,000	総務費	総務管理費	企画調整費	渉外事務					
79	暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	35	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組みます。	東京都環境・公害事務連絡協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		26市で構成する東京都環境・公害事務連絡協議会へ参加し、近隣市との連絡調整・情報共有等を行い、有害物質の拡散防止に取り組む。協議会6回、研修会等3回。	協議会6回、研修会2回に参加。環境に関する法改正や新たな環境問題の対応について、東京都や他市と有用な情報交換を行った。	A	3,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
80	暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	35	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組みます。	有害化学物質対策の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		都環境確保条例に基づく事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集・提供、拡散防止に取り組む。	市内のアスベストやその他有害化学物質等の公害防止を進めるための速やかな情報収集・情報提供・報告等を行った。	A	0									
81	環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進			36	学校での環境教育を充実するため、環境教育を支援する体制の整備を継続します。	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係	継続		教員1年目（初任者）、2年目の教員及び環境教育に関心のある小・中学校教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習教員研修を実施する。	環境学習教員研修を2回実施した。第1回7月26日「フィールドで学ぶ」水質調査、生物調査、川の安全学習16人、第2回7月27日「福生の自然の変遷」16人 合計32人	A	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					
82	環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進			36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します	理科支援員の配置	教育部	教育指導課	指導係	継続		小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 〔配置対象学年〕 小学校（5・6年）、中学校（全学年）	理科支援員活動時間：1,188時間	A	1,141,380	教育費	教育総務費	教育指導管理費	理数教育推進事業					
83	環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進			36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します	学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係	継続		小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」（環境課作成）を活用。 各学校で総合的な学習の時間等において、環境教育に係る取組を実施する。	・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用 ・総合的な学習の時間等に学習活動市民講師を活用（活動回数7回）	A	0									
84	環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進			36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します	学習指導市民講師による指導	教育部	教育指導課	指導係	継続		学習指導市民講師（NPO法人自然環境アカデミー等）による指導を実施する。	学習活動市民講師活動回数：7回	A	21,000	教育費	教育総務費	教育指導管理費	教育指導事務					

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価	
								部	課	係							款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度数値		
85	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	ふっさ環境フェスティバル	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	環境問題に対する市民の認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、環境月間である6月に「第16回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。市民や事業者により組織されたふっさ環境フェスティバル実行委員会により企画・運営を行う。（一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う）	第16回ふっさ環境フェスティバルを6月3日に開催した。学童クラブけん玉ショー、東京農工大学エコレンジャーショー、わくわくほうせい化学実験ショー、ECOマジックショー、福生高校ダンスパフォーマンス、スタンブラリー、リユース食器使用によるフードブース出展、ダンボール迷路ほか。参加団体：48団体 来場者：4,990人	A	1,500,000 [735,604]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業						
86	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	福生市の環境	生活環境部	環境課	環境係		継続	環境に関する各種モニタリング情報を収集し、計画の進捗状況を公表するため、「福生市の環境」を発行し、ホームページに掲載する。	福生市環境白書『福生市の環境 平成29年度版』の発行、ホームページに掲載した。	A	62,100	衛生費	保険衛生費	環境保全費	環境政策事業						
87	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	「かんきょう通信」	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	環境に関する情報等を発信するため、市民編集員と協働し「かんきょう通信」を発行する。かんきょう通信の発行（年2回）	かんきょう通信の発行（5月第44号・2月第45号）かんきょう通信編集会議を各3回実施した。	A	443,068	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						
88	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習講座	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	食卓から考える環境をテーマに、市民講師による環境学習講座を行う。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業）	9月30日と10月14日の2回にわたり、「影響が広がる環境問題と私たちの暮らしを考えよう～食材の調達・安全のために今何が出来るか？～」と題し、気候変動や環境汚染が及ぼす「食」への影響等についてセミナーを実施した。	A	[12,744]										
89	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	市民環境大学「ふっさECOカフェ」	生活環境部	環境課	環境係		継続	今年度は、市内に存在する豊かな水や緑、昆虫や植物などの生物をテーマに座学とフィールドワークを行い、福生市における生物多様性について考えていく。また併せて自然体験の一環として、自然とともにある食文化、食材を大切に作る工夫について、農作業体験を通して学ぶ。	市内に存在する豊かな水、緑をテーマに現地へ赴き自然観察を行うことで、将来的に市民と自然がどのようにかかわっていくのかを考えていく。また併せて自然体験の一環として、自然とともにある食文化、食材を大切に作る工夫について、農作業体験を通して学ぶ講座を全6回実施。延参加者43人	B	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業						
90	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習推進事業	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	地球温暖化防止月間セミナーを市民団体と協働で開催する。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業）	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて12月8日に地球温暖化防止セミナー「持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みと私たちの暮らし」を実施した。また、12月11日から19日までの間、市役所ロビーにて市民団体と協働し、冬の省エネや地球温暖化の影響・取り組み等の普及啓発活動に関連した展示やリーフレットの配布を行った。	A	[600]										
91	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習推進事業	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	「自然と調和した住みたくなるまち」を視点にした、環境マップづくりを市民団体と協働で行う。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業）	11月10日に環境カウンセラーを講師に招き「自然環境と共生のまちづくり」と題し、環境マップづくりをはじめ、福生の自然環境を守り、まちづくりに活かす環境活動についてについてセミナーを実施した。	A	[15,000]										
92	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	夏休み子ども見学会	教育部	生涯学習推進課	文化財係		継続	夏休み子ども見学会の実施（博物館等年1回）	夏休み子ども見学会を実施した（年1回・江戸東京博物館）	A	11,010	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業						
93	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進			36	子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★	継続	熊川分水たんけん隊 1コース1回 NPO自然環境アカデミー、熊川分水に親しむ会との協働事業	8月18日（土）、子どもや親子を対象に片倉跡地の熊川分水を採集した。熊川分水の水生物の採集調査や、周辺の原っぱで昆虫等の採集調査を実施し、自然環境の変化等も確認した（NPO法人自然環境アカデミーと協働）。自然環境の大切さを考えるだけでなく、熊川分水や片倉跡地の歴史や成り立ちも学んだ（公民館サークル「熊川分水に親しむ会」と協働）。実施場所：片倉跡地（森田製糸跡地）1コース1回 参加者20人	A	40,968	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業						

No	環境基本計画体系		頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業 区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標と目標値				指標評価	
						部	課	係						款	項	目	事業	管理指標	基準値	目標値	30年度 数値		
94	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	36	子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	青少年を対象とした体験・学習機会の拡充	教育部	公民館	公民館	★	継続	ジュニア自然体験教室 1コース10回 ①キャンププログラムの企画を参加者が主体的に行う。②キャンプ後も定期的に活動し関係を深めながら年間を通じた学習活動を行う	NPO法人自然環境アカデミーと協働で9回の日程を組んでいたが、夏のキャンプ（3日間）は台風の影響で中止となり、今年度は6回の日程で実施した。春のキャンプは「氷川キャンプ場」で実施した。自然観察、自炊などを協力して行い、参加者の自立心・主体性の向上を図った。また、キャンプまでの事前学習・準備や、八王子市滝山里山保全地区で自然の地域的・季節的違いを観察した。 延べ参加者数96人	B	468,528	教育費	社会教育費	公民館費	公民館本館運営事業					
95	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	37	子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係		継続	自然観察会の開催（年2回）	自然観察会を開催した（年2回）	A	20,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業					
96	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	37	大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を展開します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館	★	継続	だれでもなんでも展での体験コーナー、ワークショップ、伝統文化講座等の開催にあたり、草木、古布等を利用した作品作りを実施する予定。講座を通し、限りある資源や物を大切にすることを養う。	ワークショップでは、12月2日（日）に「みんなでつくろう！クリスマスリース」とし、草木を利用した作品づくりを実施した。参加者：大人26人、子ども6人。 伝統文化講座では、1月17日（木）、24日（木）、31日（木）、2月7日（木）の全4回で、竹を利用したバターナイフ作りや凧作りを実施した。参加者延べ26人。 ともに作品づくりを通し、限りある資源や物を大切にすることを養った。	A	64,000	教育費	社会教育費	公民館費	松林会館運営事業					
97	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進	37	大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を展開します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★	継続	熊川分水に親しむ講座 1コース4回 熊川分水に親しむ会との協働事業	9月1日～10月13日、隔週全4回にて開催予定のうち、第3回目（9月29日）のフィールドワークは台風の影響により中止。熊川村と水の関連性に始まり、2017年度に熊川分水が指定された「景観重要資源」についてを都市建設部まちづくり計画課職員との講義のもと学び、最終日に講座全体のまとめを行い、熊川分水の今後の保全について考える機会とした。 延べ参加者数33人	B	35,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業					
98	環境教育・学習の推進	③環境学習を支える人材の確保	37	環境学習講座等の中で環境保全活動の実践や講師となりうる人材を育成するとともに、すでに活躍している人材のネットワークを整理する、環境学習を支える人材の継続的な確保を図ります。	環境学習を支える人材の確保	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	福生市環境リーダー認定制度により、協働事業等を通し環境に関する人材の発掘をする。環境に関する市民団体と連携し、情報共有と共に人材の継続的な確保を図る。	環境学習に関する事業、活動を行う福生市環境リーダーを新規で1人認定した（累計13人）。	A	0									

管理指標		現況 (H26)	実績 (H30)	担当課	目標値 (H32) 100%	
環境基準達成率	大気	燃料中硫黄分	100.00%	100.00%	環境課	100%
		二酸化窒素	100.00%	100.00%		
	水	地下水	96.70%	99.30%		
		工場排水	95.50%	95.50%		
	騒音	航空機騒音	50.00%	50.00%		
主要な道路騒音		82.60%	89.10%			